

	① おめでとう 富士章、菊章 ② 私の団の活動報告 ③ 1 T Cに参加して ④ 指導者紹介 春日井4団CS隊長	第3号 平成24年11月11日 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織委員 広報部会 編集・発行 編集責任者 野村 典孝
---	--	--

◇ 「富士章を取得して」



瀬戸第6団
ベンチャー隊 池松 慶紀

私が富士章を取得できたのは、仲間のスカウトや隊長、団員の方をはじめ、支援して下さった地区、協力して下さった地域の方々、そして支えてくれた家族がいてくれたからです。また、宗教章を取得する際も、教導職の方や周りの方々にも大変お世話になりました。

富士章を取得する課程の中で、様々な人との出会いから学んだこと、経験したことにより活動の視野が広がり、辛かったことや難しかったことに対しても、最後まで諦めず、頑張っ乗り越えられたことは、かけがえのない経験になり、自分でも出来るんだという大きな自信にもなりました。また、取得していくにあたり、富士章はゴールではなく通過点である事を知りました。ボーイスカウトの最終目標は良き社会人に成長することであり、富士章の課程はそのための一つの道でしか

ありません。これからも目標への道は続きます。来年、ローバースカウトに上進したあとも、ARC や海外派遣などに積極的に参加して活動を広げていきたいです。そして、いつまでも感謝の心を忘れず、これまでの経験や学んできた知識、技能をさらに磨いて後輩スカウトを支援していきたいと思います。

◇ 「菊章を受章して」

日進第1団 ボー隊
石川 古都

私は10年近くスカウト活動をやってきました。中学生になってからは部活や勉強などが忙しく両立するのが大変でした。キャンプの中では辛いこともたくさんありました。「継続は力なり」と言いますが、コツコツと続けてきたことが成果につながったのだと思います。菊章を受章できたことはとても光栄に思っています。しかし、これがゴールではないのでこれからも日々精進していきたいです。ボーイスカウトを通して学んだことをこれからの生活に生かし、他の人の役に立てるよう頑張ります。

◇ 「これからの、私。」

春日井第2団 ボーイ隊
上級班長 藤田 梨花

菊章、それはボーイ隊の中では最高の、名誉ある章です。そんな素晴らしい章が今、私の制服の胸ポケットについています。

しかし、菊章をとるのは決して簡単なことではありませんでした。小遣い帳の管理、信仰奨励章など、乗り越えなければならない壁がいくつもありました。

菊章を諦めかけたこともありましたが、先輩たちが支えてくれました。今後は、自分が誰かを支えられる人になりたいです。

菊スカウトになれたのは、両親や隊長、副長、そして、いつもそばにいてくれた仲間がいたからこそ取れたものだと思います。これからも感謝の心を忘れず、隼章や富士章目指して一生懸命スカウト活動に取り組んでいきます。



◇ 「第6回ビーバー隊夏期キャンプ」

清須第1団 ビーバー隊副長
伊藤 司

7月28日、29日1泊2日親子で南信州へキャンプにいきました。天竜峡の川急流を船で大きな岩の間を下っていきました。夜は深見の祇園祭を見学しました。とても情緒あるお祭で、ビーバーのスカウトたちもびっくりしていました。そして打ち上げ花火が真上に上がり、迫力ある音とともにとてもきれいな花火でした。

2日目は、親子でトンボ玉をつくりました。トンボだま作りは親も初めての経験で、大変でしたが、出来上がった作品は、どれもすばらしい作品になりました。

最後に茶臼山高原で登山をしました。とても疲れましたが、親子で大変楽しい思い出をつくることができました。



◇ 「水生生物調査」

日進第1団 ビーバー隊
石川大翔（いしかわやまと）

夏休みに、天白川の生き物をしらべました。カブ隊の、お兄ちゃん達と一緒に川に入りました。川には、しっぽの生えたカエルや、ザリガニ、スジエビ、メダカなど、たくさんの生き物がいました。ヒメタイコウチと言う、めずらしい魚もいました。川の中から、アミをあげる時、何か入っているかな〜とワクワクしました。楽しくて、あっという間に終わってしまいました。



◇ 「水しつちょうさ」

日進第1団 ビーバー隊
中林 輝（なかばやしてる）

夏休みに、ビーバーとカブで、水しつちょうさに行きました。川に入って、あみでいろん

な生き物を、つかまえました。さいしょはなかなかつかまえられなくて、なにもいないのかと思ったけれど、いっしょうけんめいさがしていたら、ヒメタイコウチを見つけました。さいしょは、ふつうの虫だと思っていましたが、先生にぜつめつしそうなめずらしい生き物だと言われました。きれいな川にしかすむことができないと言っていました。ぼくは、びっくりして、とてもうれしかったです。ヒメタイコウチは、この日、1匹しか見つけることができませんでした。ヒメタイコウチのような虫がたくさんすめる、きれいな川が、たくさんあるといいなと思いました。



◇春日井市消防署高蔵寺出張所のみなさんへ

春日井第2団 カブ隊

小木曾 太一

こんにちは。この前消防署見学させてもらいほんとうにありがとうございました。

最後にみせてもらった訓練は、ぼくもやりたいなとちょっと思いました。すごくかっこよくて、ぼくもしょうぼう士さんになろうかなと思いました。しょうぼう車の中はホースがあって、とてつもなく長くてびっくりしました。DVDを見た時、しんさいで多くの人々がなくなって、ほんとうにこわかったです。東北のかたに、ぼ金をして元気にくらしてく

れるといいなと思いました。

いそがしい中でほんとうにありがとうございました。いつでもおうえんしています。がんばってください。



◇「江南カブ隊 合同夏季キャンプ」

江南第2団

組織委員 山口 みつえ

7月14日～7月16日、美濃白川ふるさと体験村で江南1～4団のカブ隊が合同キャンプを行いました。テーマは「パイレーツオブカブリアン」金貨をゲットしよう！です。

2日目のいかだ下り、川の上流には霧がかかり怪しげな世界です。金貨をゲットするために、スカウト達は手作りのいかだで怪しげな川を下ってきました。



いかだの到着地点では、手作りの箱メガネで水の中を観察。金貨は見つからなかったけど、

小さな魚がたくさんいました。この川は自然豊かな楽しい場所であることを知りました。昼間は山の神、水の神に守られながらたくさんの活動をしました。アイスクリームも自分達で作りました。夜は火の神に見守られながら多くの仲間と楽しいファイヤー！

ファイヤーで使う火文字は、応援参加したボーイが暑い中一生懸命作ってくれました。「僕たちも先輩に作ってもらって感動したので、今日は頑張って作ります。皆が楽しんでくれたらうれしいな。」。江南3団からはビーバー隊も参加し、一緒に水遊びやキャンプファイヤーを楽しみました。3日目の朝、副長がへび（青大将）を捕まえました。スカウトたちは大喜びでへびに触り「気持ちいい〜」を連発。首に巻きつけてもらったスカウトもいました。へび君には迷惑だったでしょうが、スカウトたちには良い思い出がひとつ増えました。



江南4団以外のカブ隊は1組しかなく、ふだんは組対抗のゲームや活動ができません。でも、キャンプでは他の組と対抗することができ、スカウトたちは負けん気をだして頑張りました。当番組、食事の後片付け当番、掃除当番など、みんなで役割も分担しました。大勢で活動すると楽しいね。楽しかった3日間、1人1人のスカウトが1年間の成果を披露できたキャンプでした。ところで、みんな金貨はゲットできたのかな？



◇ 「貝合わせ」

大口1団

① ビーバー隊長 河合 正治
5月26日、団のスカウトハウスにて小ぶりではありましたが、蛤の貝殻を使い貝合わせゲームを行いました。バラバラにした貝殻を合わせる作業から始めたのですが、スカウトはトランプゲームのように集中し、集中力を持続したまま貝殻に、絵を描く事が出来ました。体験者も4名の参加があり、楽しい隊活動になりました。

② ビーバー隊 いうた ゆうか
きょうは、貝あわせゲームをしました。みんな同じ貝に見えるので、合わせることがうまくできません。でもそろそろ、とてもうれしかった。絵は貝がらのうちがわに、かきました。お父さんも、ひこうきを楽しそうにかいてました。



◇ 「盲導犬 カインド」

大口 1 団

カブ隊 大橋 江里佳

6月16日に中部盲導犬協会へ行きました。盲導犬はとても頭がよくてかわいかったです。盲導犬が生まれてから死ぬまでの説明や、盲導犬になるまでにどんな訓練をするのかとか、盲導犬の仕事もわかって楽しかったです。



◇ 「キャンプの思い出」

大口 1 団

カブ隊 江口 紗世

7月27日から29日まで、団のキャンプで、犬山キャンプ場に行きました。私がキャンプに行って楽しかったことは、4つあります。それは、みんなと協力してやったごはん作りと、魚つりと、キャンドルつくりと、キャンプファイヤーです。その中で一番楽しかったことは、魚つりです。10匹きもつれました。その中の1匹きは大きいのでした。大きいのをつったのは私だけだったので、すごくうれしかったです。最初の方はぜんぜんつれなくてつまんなかったけど、つれるようになってきました。とってもいい思い出になりました。



◇ 「第11回日本アグーナリー」

犬山 5 団

ローバー隊長 板津 尚

11NAは8/1～6の間、滋賀希望が丘公園で行われた700名程の全国大会。参加者の距離が近く、大いに学び楽しむことができた。ハンデの有無を乗り越える「共生」がテーマ。チャレンジクルー（ベンチャー・ローバー未成年者から成る奉仕隊）を成人指導者としてバックアップするのが私の役目。クルー達は始め戸惑いながらも協力して各種プログラム奉仕などをし、一体感と笑顔が徐々に増していった。BPの孫マイケル・ベーデン・パウエル氏に会い、秋篠宮様と間近に接し、感動も大きい。奉仕活動の役に立つ介護・手話・救急の技能章講習会を受講する機会も得た。今後、より多くのスカウトに参加を勧めたい。



◇ 「夏季舎営の思い出」

北名古屋一団
カブ隊 高木 徹平

ぼくたちは、7月の28～30日で「岐阜県高山市荘川町」に夏季舎営に行きました。道の駅「おおかの湯」でバスからおりて、リーダーのべっそうまで歩いてそこで、キャンプをしました。重い荷物をせおって歩いたのでとても大変でした。リーダーのべっそうについてから昼食をとりました。とてもおいしかったです。ほう葉をさがしに行きました。とても、おもしろかったです。2～3時間たつと夕食をとりました。とてもおいしかったです。その後、組長次長会議でせいれつがおそかったので、次は、もっと早くならばしたいと思いました。その後テントの中でねむりました。次の日、朝起きてテントの中で、遊びました。しばらくたったら、デン点けんを行いました。とても楽しかったです。セレモニーなどをして朝食をとってから、わしがたけ登山に出発しました。山の最初の方は、急だったけどけっこう歩くとあまり急ではなくなってきました。のぼりはじめたときは、ささが周りにいっぱいあったけど、ちゅうかんぐらいにくると岩をのぼっていくコースがありました。最後のほうは、大きいさがいっぱいはえていました。最後は、それをかぎわけて山頂にとうちゃくしました。



去年のぼれなかった山頂にことしはのぼれたのでとてもうれしかったです。ちょっと休けいして、山頂からスタートまでもどりました。行きより、帰りの方が早く感じました。つかれたけど、とてもたのしかったです。それから、1日目でバスからおりた道の駅の温泉に行きました。とても気持ちよかったです。その後、夕食をとって、きもだめしに行きました。リーダーが水をかけてきたけど、あまりこわくなかったです。2日目の夜は、キャンプファイヤーがありました。スタンプをしたりしたのでとてもたのしかったです。その後、組長次長会議をしてねむりました。また、せいれつがおそかったのもっと早くならばせたいなと思いました。次の日、朝起きてテントの中で、遊びました。しばらくたったら、デン点けんを行いました。とてもたのしかったです。しばらくたったら、朝食をとりました。とてもおいしかったです。それから、一色川のスケッチをしました。けっこう上手にかけたのでとてもうれしかったです。その後、ターザンロープを行いました。1～3回ぐらいすべりました。とてもたのしかったです。また、重い荷物をせおって道の駅まで歩くきました。と中に木かげで10～15分ぐらい休けいして、また歩きました。道の駅についたら、たいちょうがみんなにアイスをおごってくれました。歩いたのは、大変だったけどアイスはおいしかったです。ここで、バスにのって帰りました。とてもたのしかったので「また行きたいな」と思いました。



◇ チャレンジ章 40 個完修

春日井第2団 カブ隊
朝倉 政

40 個完修できてとてもうれしいです。でも完修できたのは、しっかり見てくれてアドバイスをくれたリーダーや、協力してくれたお母さんのおかげです。みんなの前で、団委員長から表彰状をもらえたこともうれしいです。ぼくは、ぜったい40 個とるぞーと思ったからとれたんだと思っています。くまになった時、ぼくはくまの中でゆいいつ、たすきがついていなかったのです、でもがんばってちやくちやくとすすめた結果、40 個完修することができました。40 個のワッペンがついたたすきは、自分の部屋にかざってあります。ボーイ隊に上進しても、スーパーカブになれたことをはげみにして、つらいこともがんばり、人の役に立つスカウトになりたいです。



◇ 「足がいたかった御在所岳頂上までの道」

瀬戸 1 団
カブ隊 今泉 堅斗

ぼくは今回の登山で、足がいたくて、とてもつかれましたが、頂上には、三角岩やロープウェイ、さらに自然学校という施設がありました。それと不自然なくらい多くの赤トンボが飛んでいました。最初の方の道にはきれいな川があり、その水があまりにきれいな

で、タオルをその川の水でぬらしました。ぬらしたタオルはとても冷たかったです。と中わき水もあり、のんでみました。味は塩素が一切含まれていないので、とてもやさしく、とても冷たかったです。さらに進んで橋を渡りましたが、下がみえてこわかった所もありました。道があまりにもきびしすぎる所もありました。いろいろと大変でしたが、一生に一度は経験した方が良いと思いました。



◇ 「ございしょだけ登山」

瀬戸 1 団
カブ隊 篠田 佳奈

8/24～8/26 にキャンプにいきました。その中で私の印象に一番残ったのはございしょだけの登山です。最初はそこまで大変だとは思っていなかったけど、登ってみるととても大変でびっくりしました。登った道には大きな岩がたくさんあり、50m登ることもとても大変でした。とちゅうで川があり、その川の水が深くたまっている所をみると青色だったのでとてもおどろきました。そこから少し登ると、わき水が飲める所があり、飲んでみるととてもおいしかったです。そこからまた上に、上に登り、やっと頂上にたどりついたときにはもう足のかんかくが無くて、とてもつかれました。だけど登りきれてとてもうれしかったし、またやってみたいと思いました。

◇ 「夏期舎営」

日進第2団 カブ隊 1組
組長 北川 凜乃

8月11日（土）～8月14日（火）に日進2団のカブ隊みんなで、沼津市立少年自然の家で行いました。2日目の登山では、「つるべ落としの滝をせいはせよ！！」というミッションがありました。あいにくの前日の雨で、つるべ落としの滝まで行けませんでした。みんなで力を合わせて目的地にたどり着きました。少し疲れたけれどとても楽しかったです。



◇ 「VS準課題（探険旅行）」

春日井第2団 VS 隊
水野 仁美

私は8月26日から28日まで知多半島へ探険旅行に行ってきました。企画するのがとても遅く、「今回は行けないのではないかな」という不安もありましたが、隊長をはじめ色々な方の支えがあって、計画通りに実施することができました。

今回私は、「知多四国お遍路歴史探険」を目標とし、小林さんと2人で知多半島へ向かいました。私の知識不足もあり、なかなか上手いきませんでした。しかし、バディの小林さ

んのおかげで何度失敗しても、毎日が楽しく、笑顔でやり遂げることができました。本当に彼女と行くことができてよかったと思います。

この旅行は私の大切な思い出となり、また、貴重な体験となりました。これからのVS活動に役立てていきたいと思っています。



◇ 「第44回カブ隊夏期キャンプ」

清須第1団 カブ隊副長
林 智 雄

8月3日から6日まで3泊4日で豊田市旭地区において夏期キャンプを行いました。

2日目は、豊田市旭B&G海洋センターでカヌーを体験しました。初めてのカヌー体験でしたが、あっという間にみんなアメンボウのようにダム湖の上をすいすいとだれも「沈」することなく散歩していました。しかし、岩田隊長がダム湖の中へという事件がありました。これで、カブ、ボーイ、ベンチャーの隊長がダム湖で泳いだことになります。

夜は、キャンプファイヤーで大変もりあがることができました。

3日目には、夏焼城ヶ山に登山しました。途中、ロープをたより登るところもありましたが、全員889mを踏破しました。頂上からは、稲武の町がきれいに見渡すことができ、爽快な気分になりました。また、登頂の記念

に手作りのプレートを掛けてきました。

今年も清須第1団恒例のカブ隊4日間のキャンプを無事終えることができました。



◇ 「せともの祭り、鼓笛パレード」

瀬戸第6団 カブ隊

DL 波多野裕子

今年は、9月の第2土、日に『第81回せともの祭り』が開かれ、私たち瀬戸第6団も恒例の鼓笛パレードを行ないました。練習期間は3週間。平日、夜の練習は、習い事を終えてから集まる子供たち。「できない…！」と言いつつも、『前回よりも今回はもっとたくさんの感動を！』と保護者の方に支えられながら、頑張りました。当日は、緊張している子供達に、出発直前の通り雨。びしょ濡れになりながらも、指揮の笛と共にビシッ！と決めてくれました。子供って凄いですね！



最後にみんなで記念撮影。自信に満ちあふれたその顔は、とても素晴らしいものでした。私もデンリーダーとして、今年のせともの祭りは、とても充実したお祭りになりました。本当に感動をありがとうございました！

◇ 「はじめてのエールマスター」

犬山第5団

カブ隊副長 加藤 大輝

我が犬山第5団カブ隊は北名古屋第2団と共に8月17日～19日信州もみじ平キャンプ場でサマーキャンプを行いました。

生まれて初めてエールマスターの大役を任せられ、ファイヤーが始まるまで、とても緊張して準備しました。生憎の雨で屋根下での営火となりました。出し物はまあまあでしたが、エールマスターとしてはファイヤーを盛り上げる為に事前に出し物の内容や性格を把握しておくなどの工夫が必要だと感じました。終わってみるとあっという間でほっとすると共に、少し心に余裕ができたと感じています。とても良い経験をさせて頂いたことを感謝しています。次はもっと盛り上げるので、スカウト諸君にも、みんなを楽しませる面白い出し物を期待しています。



◇ 「夏季キャンプ」

小牧1団 カブ隊
岡野 耕大

ぼくは、長野県飯田市大平保養センターに、キャンプをしにバスに乗りみんなと行きました。一日目は雨がふって木の実を取る事ができなくなり、建物の中で、フォトフレームを作りました。夜には雨がやんで、星を見ました。二日目は尾高山にハイキング行きました。とってもきつかったけれど、頂上に登れたので、良かったです。夜はキャンプファイヤーで組に分かれて、クダショウのスタンプをしました。三日目はドッチビー大会をして楽しかったです。お昼はみんなでのりまきを作り、ビーバーの子といっしょに食べました。とてもおいしかったです。

キャンプでいろんな事を体験でき、楽しくやる事ができました。



◇ 「楽しいキャンプ」

小牧1団 カブ隊
岡野 桃子

わたしは、8月18日から20日まで、カブ隊でキャンプに行きました。一日目は、フォトフレームを作りました。わたしはダンボールでウサギのフォトフレームを作りました。楽しかったです。夜に、星空を見に行きました。いっぱい星があったので、すごくきれいでした。また星空を見たいです。二日目は、お高山にハイキングに行きました。わたしの

組はちょう上まで登りました。山下では、こけそうになりました。すごくつかれました。夜にキャンプファイヤーをしました。わたしの組はさいごから2番目でした。ビーバーの演技がおもしろかったです。火がとちゅう消えちゃったから、後はどうなるのかなぁと思ってました。三日目の昼に、たまきを作りました。ビーバーの分も作りました。わたしのたまきには、ソーセージとかにかまとたまごを入れました。たまきを作ったらあっという間に終わったので、びっくりしました。帰りのバスでは、アニメを見てすごくおもしろかったです。この三日間で一番心にのったのは、キャンプファイヤーです。なぜかはみんなの演技がおもしろかったからです。またみんなとキャンプをしたいなぁと思いました。



◇ 「ハイキング」

小牧1団 カブ隊
竹下 武蔵

ぼくは、ハイキングに行きました。山の高さは2212メートルで登るのがたいへんでした。すべったり転んだりしてとてもきけんでした。すごく高くてちょうじょうにつくの3時間ぐらいかかりました。だけどちょうじょうにつくとけしきがよくて感動しました。楽しかったです。



◇ 「3組で心にのこった思い出」

小牧1団 カブ隊
西野 優弥

ぼくが3組で心にのこったことは三つあります。一つ目はロープワークです。今まで出来なかった一重つぎ、もやい結び、ふたむすびができたことです。とってもその時はうれしくてとっても心にのこりました。二つ目はみんなとジャイカに行ったことです。とっても世界には水が少ないということが心にのこっています。三つ目はチャレンジ章が五つとれたことです。とったのは料理家、とくぎはかせ、えんげいか、お手伝い、音楽家です。とってもとれたときは、うれしくてもっとがんばろうと思いました。3組でこんない思い出が出来てよかったと思いました。



◇ 「楽しかった夏キャンプ」

小牧1団 カブ隊
伊藤 直

わたしは、夏のキャンプに行ってきました。わたしが一番楽しかったのは、キャンプファイヤーです。わたしは、クダショウたいじ役をやりました。そして、何度も練習して、当日、わたしは、練習通りできました。わたしの組のリーダーが、最初に練習した時よりも、アレンジされていて、とてもおもしろかったです。そして、ちがう隊や組で一番おもしろかったのは、ビーバー隊のあたりまえ体そうがビーバーが考えたの？と思うくらいおもしろかったです。あと、四組のおどりは、細かくて、よくそんな細かいおどりができるなあと思いました。特に四組のリーダーが、わたしの組のリーダーみたいに、みんなをわらわせていました。とてもおもしろかったです。

わたしは、去年のキャンプでは、ハイキングの時、一位だったのに、ゆうしゅう組は取れなかったけれど、今年はみごとゆうしゅう組を取りました。取った時とてもうれしくて、しゅくせいをした時「ありがとうウォー」と大きな声で言ってしまいました。わたしがうさぎの時は、ゆうしゅう組を一回も取れなかったけれど、今年は、五つくらい取ってカブの中で一番ゆうしゅう組を取りました。本当に楽しくて、うれしい夏キャンプでした。

◇ 「地球ひろば」

小牧1団 カブ隊
青木 瑞歩

わたしはカブスカウトで地球ひろばに行きました。わたしが地球ひろばで学んだことで一番びっくりしたのは、ほかの国では6秒に1人の赤ちゃんが死んでいることです。そして1秒ごとに赤ちゃんが生まれているので世界の人口はふえたりへったりしていることです。ほかには、きれいな水が飲めなかったり、

学校に行けずに、字が読めない子供たちがたくさんいることを知りました。わたしが今住んでる日本はとてもめぐまれていると思いました。ほかの国の人はかわいそうだけど日本にうまれてよかったと思いました。



◇「初めてのカヌー体験」

春日井第8団 カブ隊
萱野 颯斗

ぼくは、7月22日に豊田にある矢作川のダム湖でカヌーをしました。始めてカヌーにのりました。カヌーは以外に大きくパドルはとっても重かったです。だから、初めは思うように動かすことができませんでした。でも、こいでいるうちにだんだん使い方がわかってきて、速くこげるようになりました。水の上を速くこぐのは、とっても気持ちがよかったです。次の次の日になって、うでがいたくなりました。カヌーはとっても楽しかったです



◇「キャンプに行きました」

春日井第8団 カブ隊
古藤 大雅

ぼくは、キャンプにいきました。キャンプ場についたら、矢作ダムに見学にいきました。ダムの中は、広くてすごいなと思いました。夕食ではカレーを作りました。ぼくは野菜を切りました。自分たちで作ったカレーはおいしかったです。ぼくは三ばい食べました。つぎの日は、カヌーにのりました。カヌーは思ったよりも大きくて、すごいなと思いました。カヌーでおにごっこをみんなでしました。カヌーのこぎかたは、思っていたよりもずーとかんたんでした。



工作では、木のボールペンを作りました。小刀で木をけずるのはむづかしかったけど、自分だけのボールペンができてうれしかったです。いろいろなことができたキャンプはとてもたのしかったです。

◇「スカウトの日」

北名古屋第2団
団委員 日比野 壽子

平成24年9月2日北名古屋第2団の上進式が、北名古屋東公民館で行われました。今年度は、団委員長の交代がありましたが、リーダーの任命式、各隊上進、入隊式など順調に遂行されました。終了後、ベンチャーでアルゼンチンとパナマに留学していたスカウト2

名より、海外の生活文化などの紹介スピーチがあり、スペイン語で流暢に挨拶する姿は、カッコイイ！と思いました。最後は、イタリアに留学が決まっているスカウトの指揮で、連盟歌の合唱をしました。ローバースカウトにも中国留学経験者がいて、北名古屋第2団のスカウトは、国際感覚が豊かで、ビーバー、カブ、ボーイスカウトの、目標となります。お楽しみ会で、ベンチャー隊がかき氷、たませんを作って、スカウトや父兄にふるまい、楽しい『スカウトの日』を過ごしました。



◇ 「おんたけ山」

春日井第5団カブ隊
小路 皓生

8月4～5日におんたけ山に登りました。行はきつかったけど、帰りは岩ばかりで下りずらかったです。夜3時におきて頂上をめざして行きました。星がきれいだったです。雪があったのでおもしろかったです。



◇ 「1TCの思い出」

尾張東7隊(瀬戸第6団ボーイ隊)

川口 和要

1TCの活動の中で1番心に残ったことは、オリエンテーリングです。なぜなら仲間たちといっしょに考えたりできるからです。

もう1つは、トイレそうじです。なぜならトイレの中がくさかったです。でも、そうじをしたらキレイになったし、くさがなくなりました。

この活動でたくさんの友達ができました。また助け合いの心が必要だという事を学びました。これからの活動にいかしていきたいです。



◇ 「第一回東海キャンポリー 体験記」 「ローバー活動の活かし方」

尾張東編成7隊 隊長

瀬戸5団BS隊 隊長 小川 恭平

今回の大会で私は隊の目標として「各地のスカウトと交流を持つこと」としました。

そのために隊長主導の下、知多ブロックの南知多1団と三河ブロックの豊川4団と「隊交流」を行いました。私とそれぞれの隊長はローバー活動を通しての知り合いだったので、隊交流を行うことにしました。当日は我々のサイトに両隊を招き食材を持ってきてもらい隊にかかわらず一緒に食事を作るという作業を共に行いました。その後立食パーティー形式で食事をし、一通り食事が終了したところ

で自己紹介大会を行い大いに盛り上がりました。交流会の後には多くのスカウト達が友情交換ページのサイン交換を行い、大会中や大会後の再会を約束していました。ベンチャー、ローバーの活動を通して再会を果たし、私たち同様次のスカウトたちを楽しませてくれることを期待しています。



◇ 「1TCの感想」

尾張東1隊 グリフォン班
犬山第7団 伊藤 文信

僕はこのような長期キャンプは初めてで、何をするのかよく判らないまま参加になりましたが、設営ではいつも通りの流れで立ちかまど、テントを設営した。2日目では開会式があり、とても盛り上がりました。初めてやったのが3日目からのプログラムです。場外に出て町を歩いたり、ボルダリングをしてとても楽しめました。4日目は場内プログラムを行い、技術的なオリエンテーリングや地方の文化を体験しました。5日目は2つのプログラムをとにかく楽しんで挑戦しました。そして閉会式では、たまたまあった人とチーフリングの交換をきっかけにとっても仲がよくなってライブの時にはその人たちとおおいに盛り上がりました。これだけ楽しかったことを知りこのキャンプで身につけた技能をジャンボリーで活かしたいです。



◇ 「1TCの感想」

尾張東地区編成第4隊
小牧第1団 佐伯 駿

僕は、1TCがボーイの活動の最後のキャンプなだけあって今まで一番楽しむことができました。1TCの最初の二日間は雨ばかりで、正直「最後のキャンプがこれかよ・・・」と思いました。でも、その雨の中のキャンプを乗り切ったことで1TCがよりよいものになったような気がします。僕はこの1TCは班長として「班員を楽しませる。」という目標を持って臨みました。その目標も、最後に班員たちのたくましくて素晴らしい笑顔を見た時達成できたという実感が湧きました。またこの1TCを通してさらに僕たち小牧第1団の絆は深まったのではないかと思います。つらい事もあったけど仲間とともに乗り越え、支え合い協力して素晴らしいキャンプにすることができました。本当にこのメンバーで最後のキャンプをすることができて良かったです。班員にも感謝しています。この1TCは僕にとって生涯、忘れることのない大切な思い出になりました。

◇ 「1TCを終えて・・・」

尾張東地区編成第4隊 隊長
小牧第1団 伊藤 功典

我々尾張東地区編成第 4 隊は、春日井第 4 団、小牧第 1 団の BS・VS および指導者、上級班長を春日井第 2 団の VS を派遣していただき、そしてソウル北部連盟から 2 名の韓国スカウト迎え入れ総勢 37 名で、1TC に挑みました。1TC 本番に先立ち事前訓練を GW に 2 泊 3 日で、6 月末に 1 泊 2 日で行いました。1 回目の事前訓練は本当にこれで大丈夫か・・・と思うくらい不安を感じたキャンプでした。2 回目の事前訓練では 1 日目は、日差しが強くとても暑く、2 日目は朝からドシャ降りの雨のキャンプでした。ですがこの雨（副長の愛・・・）のおかげか、本番最初の 2 日間の雨のなかにもスカウトたちはなんなく乗り切ったのではないかと思います。プログラムにもスカウトたちは元気よく出かけ、サイトに帰ってくるといろいろとあったことを楽しそうに報告してくれました。最終日まで大きな怪我や事故なく楽しく過ごせたことは、日ごろの訓練のたまものではないかと感じ、原隊隊長には深く感謝いたします。また派遣隊に加わっていただいた指導者の皆さんも、編成隊等での経験は少ない方が多かったでしたが、ご自身の役務をしっかりと理解され、スカウトたちのためにご尽力いただき、そして地区やサブキャンプの関係各位の皆様にはいろいろと助けられ本当に感謝しております。

また機会があれば、是非、派遣隊隊長を引き受けたと思います。

本当に皆様ありがとうございました。



◇「私の 1TC 体験記」

尾張東地区 編成第 5 隊
(春日井第 2 団 BS 隊)

小木曾 美乃里

私は、8 月 4 日～9 日まで行われた 1TC でいろんな子を見ました。例えば、辛いことがあっても常に明るく・笑顔でいる子、班のみんなに迷惑ばかりかけている子、みんなの見ていないところで頑張っている子、班員とうまくいなくて泣いている子などです。そんな中で特に印象に残った事は、「泣いている子」をみんなが元気付けている場面でした。それを見て「仲間って良いなあ」と思いました。初日に編成 5 隊のみんなの前で、「1TC は、6 日間という長期のキャンプです。辛い時は励まし合い、上手くいかないことはみんなで協力しましょう！」という内容のスカウトOWNをしました。その言葉がみんなに届いたかどうかは分かりませんが、とにかく『編成 5 隊は友情にあつい！！』このメンバーで 1TC に参加できた事を誇りに思います。

◇「感謝」

尾張東地区編成 5 隊隊長
小牧第 2 団 白濱 知春

朝 5 時、上班の起床の笛が鳴り響く。隊員の前に立った。今日 1 日を楽しんでやるという気持ちを 31 名のスカウトの瞳から感じた。春 2・春 3・小 2 のスカウトが 5 班に分かれ、この 5 泊 6 日競い合い、助け合い、楽しんだ。とにかく若い副長が熱意をもって動きまわった。上班がそれに答え、班長は必死に班員をまとめていた。思うようにならなくて泣きなくなったこともあっただろうが、しっかり班員は君達についていった。確実にこのキャンポリーでスカウトは、何かを学んだ。それは私自身も。日和田の涼しい環境に恵まれて、快適な生活が送れたことに感謝します。編成 7 隊のスカウト、指導者の皆さんと楽しい交流

が出来た事に感謝します。31名のスカウトの皆さん、元気に楽しんでくれてありがとう。「スカウトの友情（きずな）」が、これから先も続くことを私は、期待します。

◇ 「初めての野営大会」

尾張東編成6隊

春日井10団 古澤 絵美亜

私にとって、この1TCが初めての大きな大会でした。普段のキャンプでは体験できないようなことがたくさん出来て、とても楽しかったです。その中でも、とても規模が大きかったことに驚きました。愛知、三重、岐阜の各地からたくさんの人が集まっていました。1TCでは、いろんな人と交流ができたところが面白かったです。また、大規模な開会式、閉会式があるということも、私にとって初めてのことだったので、面白かったです。自衛隊の生の演奏を聴けたり、各地の祭りの発表を見れたりして、楽しかったです。

今回の1TCがとても楽しかったので、来年の16NJもとても楽しみにしています。16NJは、全国から集まる人と交流をしたり、たくさんのプログラムに参加したりできると思うので、必ず行きたいです。

◇ 「第1回東海3県合同野営大会に参加して」

尾張東編成第1隊タイガー班

犬山第5団ボーイ隊コンドル班次長

平野 圭佑

僕は、愛知連盟尾張東第1隊タイガー班班長として8月4日から9日までの長いキャンプに行きました。他の団の人たちも来ていてとても大きなキャンプでした。僕は、雨が一番心配でした。テントを立てる時は大じょうぶだろうかと、ご飯を作る時は大じょうぶだろうかと、とてもそわそわしていました。実際、1、2回ごはんを作る時に雨がふり、テントをかたづけるときも雨が降ったと思います。僕は五泊六日の

キャンプなんてはじめてだったので、いろいろと心配な事が多かったです。六日間、長いようで短く、短いようで長い時間が過ぎました。僕らの団からの参加スカウトは三人と少なく、とても大変でしたが、なんとかやっていけたので良かったです。この1TCのキャンプはとても良い経験になったと思います。



◇ 「1TCで学べたこと」

尾張東編成隊2隊

江南第1団 VS隊 早川 翔太

今回の1TCでは、尾張東2隊の上班として参加しました。今までスカウト活動をしてきて、上班をやるというのは初めての経験でした。最初は、「上班なんて務まるのか」、「スカウトをまとめられるのか」といったことを、ずっと考えていました。しかし、石川隊長をはじめとするリーダー達のおかげで、訓練キャンプをやっていく中、上班の存在理由、スカウトのまとめ方、といったことを教えてもらい、だんだん自信が付いていきました。

1TCは始めの3日間しか参加することができませんでした。最初は「行きたくない」とか考えていましたが、最終日には帰りたくないと思えるほど気持ちに変化していきました。プログラムは、1つしか参加できませんでした。とても有意義に3日間を過ごせたと思います。こういった喜びや大会で得た知識を次の世代に残せるように、これからもベンチヤースカウトとして、成人したらローバースカウトとして、努力していきたいと思います。

◇ 「第1回東海三県連盟

合同野営大会に参加して」 ①

清須第1団 ボーイ隊

久世 菜摘

私は、5泊6日の東海三県合同野営大会にいきました。1日目から大雨が降ってきて、本当に大丈夫なのか不安でした。2日目は、朝のみそ汁がすごく塩辛くて飲みほすことがとても大変でした。開会式では約2000人のスカウトがあつまりました。会場中は人がいっぱいびっくりしました。3日目は、場外プログラムで「高山市街フリー散策」でした。昔の町並みやお店がたくさんあってとても楽しかったです。4日目は、オリエンテーリングをしました。スタンプラリー感覚でできました。でもコンパスで北がコロコロ変わるのでとても苦労しました。5日目は、実況生中継で手旗をやりました。初めてだったのでとても時間がかかりました。レスキューでは、三角きんの使い方をならいました。ブラウガンナーは、吹き矢でとても楽しかったです。

閉会式が始まると、もう終わりかいという気持ちになりました。あっという間に終わってしまった1TCキャンプはとても良い思い出になりました。

② 清須第1団 ボーイ隊

鈴木 さら

私は、5泊6日の東海三県連盟合同野営大会に行きました。初日は、大雨で心から帰りたいと思いました。でも、次の日は晴れでとてもうれしかったです。2日目は開会式がありました。アリーナという大きな広場にスカウトたちが集まりました。周りをみたら、人だらけでキモチワルかったです。もう一つ印象に残ってことは朝のミソシルです。くまちゃん班の作ったミソシルは1年分の食塩を補給してしまいました。とても塩辛くてイヤでした。3日目は、場外プログラムでした。私たちは高山市内散策がありました。ソフト

クリームがおいしかったです。でも外国人に変な人みたいにみられたことは悲しかったです。4日目と5日目は、場内プログラムでした。いろいろ体力使いちょっとやせました。あと、植木さんのスープとスパゲティーがめっちゃおいしかったです。5日目は、閉会式がありました。韓国人と握手してもらえてうれしかったけど、男なのに手がすべすべしていたのでびっくりしました。

夢がかなってうれしかったです。

③ 清須第1団 ボーイ隊

園部 莉菜

私は、8月4日から9日まで、キャンプにいきました。このキャンプは、三重、岐阜、愛知の東海三県と、韓国のボーイスカウトが集まってやりました。まず、テントを建てました。テントをめっちゃ上手に建てれてよかったです。でもとちゅう雨がふって、さいあくでした。6日間はあっという間にすぎました。このキャンプに行くまえは、行きたくなかったけど、今は、すごく良い思い出になって、行って良かったなと思います。あと、くまちゃんやうさぎやパンサー班のみんなや、いろいろな人とも仲よくなれてよかったです。

④ 清須第1団 ボーイ隊

仲村 思笑

私は、夏休みに5泊6日の東海三県連盟合同野営大会に行きました。はじめは、長期キャンプで大変かと思いましたが、プログラムがいっぱいあって意外と短かったです。

尾張東3隊は、北名古屋1.2、岩倉、清須の4隊で結成されていて、私達の班は清須と岩倉の合同班でした。そのこともあり、訓練キャンプはうまく連携出来ず、大変でしたが、私達のできないことが岩倉のこが出来たりしたので、他の隊と組むことでいろんな事が分かりました。場内プログラムと場外プログラムでは、高山市内散策、ブラウガンナーとい

う吹き矢等をやりました。雨がたくさん降ってきたりして、たいへんでしたが、最後らへんは晴れて良かったです。閉会式・大集会では、各地域の郷土を紹介したり、ゲストライブがあったりと、とても楽しかったです。

今回キャンプで、自分に何が足りないか、何をしたら班や隊がうまく進んでいくのか考えさせられました。これから新しいこが、ボーイにあがってくると思います。そのときに、いろんなことを教えられるように、私も技術を身につけていけるよう、がんばりたいと思いました。



⑤ 清須第1団 ボーイ隊
川口 紘河

僕は、この5泊6日の1TCの三県合同野営大会がとても短く感じた。キャンプが始まって、1日目が終わる時までは、まだ長いなと思っていたが、2日目、3日目と1日が終わるのが早く感じた。バスにゆられて、降りてからもしばらく歩いた。到着後、昼ごはんを食べ、テントの設営を始めた。設営をするのには時間がかかった。開会式では、はじめに、高山輪技団の演技があり、高山市長などの人が話していた。場内プログラムでは、実況生中継、オリエンテーリング、スパイダーウェップ、レスキュー出動、ブロガウンナーをやった。場外プログラムでは、高山市街散策をした。実況生中継では手旗を使った。僕は1

度もやったことがなかったので、とても難しかった。オリエンテーリングは、制限時間以内にたくさん設置されているポストを見つけポストにあるマークをどれだけ集められるかだった。僕達の班は230点だったが、1番点数の高い班は370点だった。スパイダーウェップは、実況生中継が40分近く長びきやることができなかった。レスキュー出動では、三角巾を使ったり、担架を使ったりした。三角巾を使うのは難しかった。ブロガウンナーでは鉄くぎを使って矢を作り、吹き矢をした。5回矢をとばして点数を競ってみたところ、そこまでうまくできなかった。岩倉の子に笑わされて1回無だにした。高山市街散策では、文字通り高山市を散策した。お店に入りお土産を買ったりした。プログラムがあるときの昼ご飯は、パンかおにぎりだった。キャンプ5日目コンサートや隊ごとの演技があった。閉会式は、夜おそくまで続いた。最後には花火もあった。キャンプサイトにもどり夜ご飯を食べた。

最終日は、片づけをして帰った。家に帰るとつかれてすぐねた。

⑥ 清須第1団 ボーイ隊
秋田 ひかり

途中からしか行けなかったけど後の2泊3日は、行けなかったぶんも楽しくすごせたと、いっしょにやったちがう団の人ともなかよくできました。おとなりの隊の中にも友だちができました。プログラムでいちばん楽しかったのは、ブロウガンナーです。矢みたいなのを作るときがいちばんむづかしかったです。でも、1回もミスをしずに高得点がとれました。4日目は、プログラム(レスキュー)をやりました。5日目は、手ばたとほうし活動としんこうをしました。(閉会式も)6日目(最終日)は、テントをかたづけて、本部をかたづけて帰りました。

閉会式がいちばん心に残りました。かん国はけん団の人は、すごくテンションが高かったです。最後にギターをひきながら歌を歌う人といっしょに花火をみました。花火はすごくきれいでした。



◇ 「1TCを無事に終えて」

尾張東編成隊第3隊 隊長
北名古屋1団 中田 洋二
岐阜日和田高原 5泊6日の1TC 尾張東3隊は参加総数 33名の指導者とスカウトです。5月3日～5日北エリア合同訓練に始まり6月と7月に3隊で事前訓練をしました。ナイフ・ナタ講習・許可書の発行と水のろ過装置講習・製作を実施しました。1TC準備として情報の共有化・想定される野営に対して準備訓練をし、スカウトとのコミュニケーションを図りました。日和田高原の3隊野営地は林間のヤブの中でした。広さはあるが太陽光が入りにくいサイトで干し物は乾かず、地面はつげの低木で根が張りかなり！整地・開拓にてこずりました。初日の夕食は夕方からの大雨で火がつかず、カレーは21時過ぎになりキャンプ開始の洗礼を受けました。でもスカウトは全員が始まるぞ！と生き生きしていました。大会は二日目夕方の開会式で始まり、三日目から場外・場内プログラム参加で、あっという間に時は流れました。五日目夕方からの大集会・閉会式と無事に終わりスカウト全員が貴

重な体験と学習ができたと思います。最後に大会直前に発熱・怪我のため参加できないスカウトがいたことが残念です。また、関係各位・多くの奉仕者・日和田野営地に感謝します。
弥栄三唱。

◇ 「日和田高原ありがとう」

尾張東編成隊第3隊 パンサー班
北名古屋1団 平松大輔
乗鞍岳と御嶽山に囲まれた自然豊かな日和田高原で8月4日から9日まで東海三県連盟合同野営大会が開催されました。約3000名のスカウトとリーダーが集まったこの大会で、僕の所属している北名古屋1団は、近隣の北名古屋2団、清須1団、岩倉1団と編成し尾張東第3隊として総勢三十三名で参加した。大会中は毎日、異なる様々なプログラムがあり、時にはキャンプ場を離れ、木曽福島の市内散策や御嶽百草丸の工場見学に出掛けたりして、仲間と共に数多くの体験をする事が出来た。最終日の夜は、大知正紘さんがギターの弾き語りライブを、そして迫力ある打ち上げ花火で盛り上がった。この充実した六日間で僕は自然の美しさ、その自然に接する事の出来る満足感、そして自然の大切さを学んだ。そしてこの美しい自然を次の世代に残す為、今後、環境問題について学びたい。



我が団の名物指導者を紹介します ・ 第3回」

1. 自己紹介

所属団 : 尾張東地区 春日井第4団

氏 名 : 伊藤 克敏 (いとうかつとし)

生年月日 : 昭和 53年生まれの **34歳**

スカウト活動暦

6歳でクロヨンクラブ (今や知る人ぞ知る春日井4団ビーバー試行隊)に入隊、ビーバー隊発隊と同時にビッグビーバーとなり、以降カブ隊、ボーイ隊、シニア隊 (現ベンチャー隊)、ローバー隊と一時幽霊隊員になりつつも25歳まで19年間活動しました。

指導者活動暦

: 25歳のスカウト定年を迎え、指導者としてビーバー隊から再度勉強せよとの団の意向 (?)によりビーバー隊副長に。1年後ビーバー隊長になり3年、その後カブ隊長になり今年で4年目の計7年経過しました。

趣 味 :

登山、といってもスカウト活動が忙しくここ最近は全く登れて いませんネ。。。



2. ボーイスカウト活動に関わったきっかけ

3つ上の兄が入隊し、そのままの流れで入隊。ここまでどっぷり関わることになるとは想像もしませんでした。

3. 我が隊の自慢

6組編成34名のスカウトを有し、たくさんの仲間たちと活動することができます！

この大人数の隊を運営してくれる充実した副長・デンリーダー陣、それを支援してくれる団委員や保護者のみなさんの協力もあり、恵まれた環境の中で隊長をやらせていただいています。

またビーバー隊やボーイ隊ともしっかり連携し、り

すの道の開催やデンコーチ奉仕、上進章集会の開催をとおして、団としてのつながりを意識できる場をつくり、全スカウト上進を目指しています！

4. ボーイスカウトをやっている良かったこと

ボーイスカウトを通じていろんな人との出会いがあることに感謝！スカウト活動をやっていなければ知り合うこともなかった異年齢・異業種の人とおしゃべりできることが楽しみのひとつになっています

5. 失敗談

数年前のスキー訓練で調子に乗って滑っていたら携帯電話を紛失したこと。一晩おいて前日大コケしたところを確認したら、雪原の上に白い携帯電話がひとつ。感動の再会でした (涙)

6. 得意なプログラム

読図 : 地図の上で仮想の旅に出かけられます♪

7. 活動の無い休日の過ごし方

9歳、5歳、0歳の子どもたちと遊ぶ！といきたいですが、なかなか丸一日休みっていう日がないのがツライですね。。

8. 我が隊のスカウトにひとこと

10年、20年経っても一緒にスカウト活動をしているスカウトが、1人でも2人でもいるとすごくうれしいです。

早く大きくなって隊長を楽にさせてください (笑)。

9. 次回は北名古屋1団ベンチャー隊長の河村武人さんを紹介します。

Q : その方とのかかわり どんなつながり

地区コミッショナーグループで一緒にさせてもらっています。ローバー隊の活動について造詣が深く、いつも勉強させていただいています。これからもよろしくお願いします！

メ ッ セ ー ジ

活動報告発信中！

春日井第4団ホームページもよろしく！！

<http://www17.plala.or.jp/kasugai4/>